

■ 指定管理者制度導入施設 最終評価シート ■

1 基本情報

公の施設名	相模原市立環境情報センター(エコパークさがみはら)
指定管理者名	株式会社ウイツココミュニティ
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
施設設置条例	相模原市立環境情報センター条例
施設の設置目的	環境の保全及び創造に関する学習の推進並びに市民等が自主的に行う環境の保全及び創造に関する活動の促進を図る。
施設概要	開所日 平成18年4月1日 所在地 相模原市中央区富士見1-3-41 構造 鉄筋コンクリート造2階建て 敷地面積 2,393.29㎡(衛生研究所敷地含む) 延床面積 600㎡
施設所管課	環境経済局 ゼロカーボン推進課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数合計(人)	23,329	20,554	22,226	12,395	15,660
利用料金合計(円)	678,375	617,956	545,792	1,026,255	1,274,559
貸館率(%)	28%	28%	28%	70%	72%

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A	A	S	S	A		17

指標1

指標名(単位)	事業開催に伴う参加人数(単位%)
指標式と指標の説明	(環境学習事業の「事業参加者数」÷「事業参加者目標人数」)×100

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値(%)	60	65	70	75	80
実績値(%)	158	108	88	193	86
達成度(%)	263.3%	166.2%	125.7%	256.9%	107.8%

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価点 (20点満点)	評価点 15
			A	A	A		

市が指定する事業

主な事業名	内容等	効果等
自然環境観察員制度事業 かんきょう学習セミナーの開催	身近な自然に目を向け自然環境に対する関心を高め、環境保全意識の高揚を図ることを目的とした自然環境観察員に向けたセミナーを開催する。	調査に関連する環境情報についてのセミナーを開催し、自然環境観察員の知識を高めるとともに、制度を周知する効果があった。

企画提案事業

主な事業名	内容等	効果等
環境学習事業	環境保全意識の向上を図るための学習会を実施する。	小中学生向け、親子向け、成人向けに分け、対象の年齢層に合わせて地球温暖化や自然環境保全、資源循環などの環境に関するテーマの講座を開催し、環境意識の高揚が図られた。 5年間で177回開催、8,829人の参加があった。
環境情報システム事業	図書や資料などを環境情報コーナーへ配架するとともに、ホームページを活用した様々な環境情報の提供業務を実施する。	ホームページ、SNS等による情報発信を実施した。特にコロナ禍にあつてはいち早くYouTube動画配信を開始するなどSNSに力を入れ、相乗効果でホームページアクセス数が上昇するなど市の環境情報発信力を強化する効果があった。 5年間のホームページアクセス数は173,977回、SNS発信数は508回だった。
エコギャラリーの運営事業	市民活動団体、事業者、大学等の環境活動の成果や情報などを展示するエコギャラリーを運営する。	環境団体の活動の周知に資する展示を行い、さがみはら環境まつり実行委員等の関係団体との連携を深める効果があった。5年間で51回の展示を実施した。

自主事業

主な事業名	内容等	効果等
さがみはら津久井産材グッズ販売	さがみはら津久井産材製の木工品を販売	市内の森林資源の有効活用や地産地消についての啓発に繋がった。

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価点 (20点満点)	評価点
	S	B	A	B	A		

利用者満足度調査

調査手法	利用者へのアンケート調査を実施
目標値の基準	利用満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値 (%)	89.3	98.4	97.6	98.3	92.9
実績値 (%)	98.4	97.6	98.3	92.9	96.8
達成度 (%)	110.2%	99.2%	100.7%	94.5%	104.2%

利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容
事業参加者アンケートの実施	講座事業の参加者を対象にアンケートを実施し、参加者が何で事業を知ったのかや満足度について調査を行った。

利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
WEB会議で使用する大型モニター等の備品要望	令和2年度にモニターやWEBカメラ、マイク等のWEB会議のための備品を購入した。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価点 (20点満点)	評価点
	A	A	S	S	S		

施設の収支概要

(千円)

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入 (a)	25,656	25,524	25,766	28,212	27,192
指定管理料	24,799	24,791	25,044	25,263	25,263
利用料金収入	678	618	546	1,026	1,275
その他の収入	179	115	176	1,923	654
支出 (b)	25,010	24,227	22,664	23,201	24,868
人件費	14,978	18,933	16,295	15,606	17,015
本社管理経費	1,520	930	1,073	1,327	1,454
その他の支出	8,512	4,364	5,296	6,268	6,399
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	646	1,297	3,102	5,011	2,324
自主事業収入 (d)	0	0	0	97	67
自主事業支出 (e)	0	0	0	94	90
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	0	0	0	3	-23
全体収支 【(c)+(f)】	646	1,297	3,102	5,014	2,301
備考	令和元年度新型コロナウイルス感染症拡大防止措置に伴う市から指定管理者への損失補償65,924円は除く。令和2、3年度は活動室を市に長期貸出したことにより利用料金収入が増加した。				

7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
管理業務			適正に実施	適正に実施	適正に実施
危機管理			適正に実施	適正に実施	適正に実施
人員配置・地元活用			適正に実施	適正に実施	適正に実施
現金管理			適正に実施	適正に実施	適正に実施
会計・経理			適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報セキュリティ			適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報公開・個人情報保護			改善済	適正に実施	適正に実施
市への報告事項・事前承認等			適正に実施	適正に実施	適正に実施
加点の有無			無	無	無
主な加点内容					

8 指定管理者の自己評価

当初は知識・経験共に決して十分とは言えず、監査において15に上る指摘を受けたことは改善の仕組み構築の機会をいただいたと捉え、施設運営に取り組みました。職員一同が互いに研鑽し合い、より良いサービス提供のために学び、考え、改善を重ねながら事業計画の遂行に当たりました。

また、施設の設置目的を認識し、文字通り環境情報の発信拠点として、環境問題を考える様々な団体や人との繋がりにより各種事業を実施しました。令和元年度以降は、コロナ禍における対応の変化に困惑しながらも、市所管課と密に連携しデジタルとアナログを織り交ぜた事業実施により、職員の対応力と利用者満足度の向上、更には新たな手法の基礎作りができたと考えます。

9 所管課意見

平成30年度の監査において現金管理方法等について指摘を受けたものの、その後は会計マニュアルの整備や予算の執行方法の明確化などの是正を図り、改善が見られた。

事業面においては、5年間のうち後半の2年間はコロナ禍の影響において、環境学習事業にいち早くオンラインの手法を取り入れ、YouTube動画チャンネルでは多くの登録者を獲得するなど、施設内にとどまらずに広く啓発活動を行い、果敢に新たな試みに取り組んでいた。また、感染状況が落ち着いてからは、オンラインに力を入れつつも対面事業を再開させ、状況に応じた柔軟な対応を行ったことは評価できる。

施設管理面においても、オンライン会議環境を整備するなど利用者からの要望を取り入れ、利用者満足度の向上に寄与したものと考える。

10 選考委員会意見

指定管理期間の開始当初は、平成30年度の監査で会計等について指摘を受けたほか、一部の事業の参加者数が伸び悩んだこと等もあったが、その後は改善が図られた。

また近年はコロナ禍という逆境のなか、柔軟な発想で事業形態の転換を行い、YouTubeなどSNSを使った動画コンテンツを配信し、幅広い層に対して地球温暖化、資源循環、生物多様性及びSDGs等について啓発を行ったことは評価できる。

5年間を通じて試行錯誤を行ってきた実績は今後の施設運営においても活かしていただきたい。

総合評価（自動判定）

A

(77/100)

